

県内の高校生が「SNSの使い方」について考えました

今年度も「高校生ICTカンファレンス長野大会」が開催され、県内 11 校から 45 名の高校生が集まりました。

- はじめに、Twitter Japan 株式会社の服部聡公共政策本部長から、基調講演をしていただき、「SNSは『今起きていること』を情報共有できる」「安全に利用するためには、利用者自身のリテラシー向上が不可欠」など熟議のヒントをいただきました。
- 参加した高校生は、テーマ「人はなぜSNSを使うのか？～改めて考えるSNSの使い方～」について、8グループに分かれて熟議・発表し、その後学校ごとに意見をまとめて発表しました。



使い方に 留意します

- 「相手の立場に立って考える」「他人への誹謗中傷はしない」など<岡谷東高校>
- 「大事なことは直接伝える」「たくさんの視点から情報を得る」など<飯山高校>
- 「情報を悪用されないよう注意する」「相手が誤解しないよう工夫する」<北部高校>
- 「機能を知り使用上のルールをつくる」「責任を持った行動をとる」など<高遠高校>
- 「情報を見極める力」「自制する力」などをつける<茅野高校>
- 自己管理能力を上げる<松本美須々ヶ丘高校>
- 「電子世界」でも現実社会と同様に正しく利用する<松本深志高校>
- SNS上で安易に自己を評価しない<松本県ヶ丘高校>

「自分」を 大切にします



松本県ヶ丘高校は、「承認欲求を満たすために使うことが多いが、SNS上のいいね(他者による評価)は無責任な評価で、本質的な評価ではない。私たちはそのようなSNS上の評価に『自己』を振り回されてはいけない」と主張し、全国大会(サミット)へ出場。

生徒主体の取組を 進めます

- 知識を高めるための講演や話し合いの場を生徒会で作る<明科高校>
- SNSの使い方について考えられるアプリを製作する<松本工業高校>
- 「断スマ」(スマホを断つ期間を設ける)を実施し、ルールを策定する<松川高校>



小中学生へのメッセージも考えました

- 「家庭内のルールを守ろう」
- 「大人と一緒に使おう」
- 「大人と一緒に学ぼう」
- 「フィルタリングをかけよう」
- 「危険性を理解しよう」
- 「自己判断を大切にしよう」 など

大会後、成果は広まっています

参加校のうち、留意点を挙げた学校では、校内で注意喚起をしたり、話し合いの機会をつくったりしています。また、「自分」を大切にすることを訴えた学校では、新たに校内ルールをつくったり、地区の生徒会交流会で呼び掛けたりしています。生徒主体の取組を掲げた学校では、具現化を図っています(松川高校の取組については「ユビキタス@nagano vol.46」に掲載)。

県教育委員会では、今後、高校生からのメッセージを小中学生へ伝えていきます。

今、スマートフォンやSNSは私たちの生活に欠かせないツール(道具)になっています。だからこそ、次世代を担う高校生がその安心・安全で適正な利用について考えることは大切です。皆さんも改めて考えてみましょう。

私も、

します！

